

所管課		教育推進部青少年育成課														
施策の大綱	まちづくりの目標(章)			施策分野(節)			施 策									
	第3章 元気創造都市			05 青少年育成			03 夢と創造力を育む機会を充実する									
事業：青少年活動啓発事業													整理番号	0598		
目的	青少年の活動を地域の人たちが支援し、見守り・指導・相談するなど、市民への青少年育成に関する普及・啓発を推進する。 また小中学生が市や地域の講座・イベントへの参加を促進させる仕組みをつくる。															
目標	ホームページを充実し、情報発信機能を強化するとともに、くろまろキッズ事業の啓発普及を図る。															
事業費・財源	事業費（決算額）（千円）			1,288		コスト情報・評価	総コスト（千円）		5,481		総合評価 A 評価理由 子ども向け情報が効率的に発信されることで、各事業での参加者が増加した。	妥当性		A		
	財源内訳	一般財源		1,288			内訳	事業費		1,288		効率性		A		
		国府支出金		0				人件費		4,193		有効性		A		
		地方債		0				公債費		0						
		その他特定財源		0				一人あたり（円）		49						
								世帯あたり（円）		116						
貢献度	施策に対する事業貢献度		B		根拠	子ども向け情報が効率的に発信されることで、各事業での参加者が増加した。										
今後の方向性	イベントの申し込み、イベント開催後の報告などホームページの充実をおこない、アクセス数の増加をめざし情報発信機能の強化を図る。															

事業 優先順位		1	細事業:子どもセンター事業				整理 番号	01						
目 的		子どもの地域における体験活動機会や家庭教育の支援に関する情報を親や子どもたちが容易に入手できるようにする ため。												
目 標		ホームページを充実し、くろまるキッズの普及啓発を図る。くろまるキッズ事業への参加促進のための情報発信を強化す る。												
事業 実施主体		委 託		事業開始 年 度		平成12年度		根拠 法令						
事業費・財源	財 源 内 訳			平成25年度	平成24年度	比 較		コスト 情報・従 事職員数 参考			平成25年度	平成24年度	比 較	
		事業費(決算額)(千円)		868	139	729			総コスト(千円)		3,155	1,726	1,429	
		一般財源		868	139	729			事業費		868	139	729	
		国府支出金		0	0	0			人件費		2,287	1,587	700	
		地方債		0	0	0			公債費		0	0	0	
		その他特定財源		0	0	0			一人あたり(円)		28	15	13	
				0					世帯あたり(円)		67	37	30	
				0					職員数(人)		0.30	0.20	0.10	
				0					再任用職員数(人)		0.00	0.00	0.00	
		今後の 方向性		ホームページ及び情報誌を通じて地域の講座・イベントへの参加促進をすすめる。										
評 価	妥当性		効率性		有効性		対象者	市内在学の小学生 約5,400人及び市内在学の中学生 約2,800人						
	A		A		B									

事業：青少年活動啓発事業

子どもの地域におけるさまざまな体験活動を充実させ、家庭教育を支援する体制を整備するため、体験活動の機会や家庭教育の支援に関する情報を収集し、提供することを目的に実施。これまでは、主に情報収集・提供を主体としていたが、今年度からは小中学生を対象に、収集した情報により、イベントに参加した場合、ポイントを付与するという取組である「くろまろキッズ」を実施し、活動により積極的に参加する仕組み作りを行った。

細事業：子どもセンター事業

1. 情報誌キッズアイの発行（子どもセンター協議会※に委託）

保護者や子ども達に体験活動や家庭教育の支援に関する情報等が容易に入手できるように、情報の収集並びに情報の提供（情報誌の発行）を行った。また、情報誌は小中学生向けに配布するとともに、各幼稚園、保育所、公民館等に合わせて約9千部を発行した。

年間6回（奇数月）発行

※子どもセンター協議会

…子どもの地域における体験活動機会の提供及び家庭教育の支援を図るために設立された協議会のこと。

2. 子どもセンターホームページの運営（子どもセンター協議会※に委託）

イベントの詳細な情報(画像など)や、市の歴史ページなどを掲載し、子ども向け総合ポータルサイトとしてホームページのリニューアルを行った。また、パソコンだけでなく携帯端末からも情報が取得できるようなものとした。

